

# 令和4年度 第2回 医療事業推進委員会 地区リーダー育成研修会報告

開催日時 2023年2月23日(木)

9:00～13:00 Web開催

## 報告事項

### 1) 第3回、第4回医療事業推進委員会報告

・食事療学会開催について・・・

1000名を超える参加者と40題以上の演題も集まった。今年度も引き続きWebでおこない、今回は一般演題を午前中におこなった。午後からは特定機能病院における管理栄養士の病棟配置をテーマとした講演と厚生労働省の方からの診療報酬改定に関わる講演があった。

・広報関連について・・・

栄養日本の執筆予定及び臨床栄養の執筆予定の確認とリエゾン(広報チラシ)を使っての会員増対策についての説明があった。

・給食管理スペシャリストについて・・・

委託給食会社の管理栄養士に対する専門管理栄養士の資格付与をおこない病院側、委託側双方にメリットのある取り組みをモデルケースとしてまずはすすめる。

・コンサルテーションサロンについて・・・

来年度は栄養ケア・ステーション、新入職員対象、その他の3回を予定中。

・就業実態調査について・・・

日本栄養士会会員だけでなく栄養士、管理栄養士にアンケートの記入勧奨をおこなう。

・その他・・・

チーム医療推進協議会(学会)開催における参加勧奨についてや、がん基本計画における日本栄養士会の活動についての説明が常任からあった。

### 2) 統一議題説明

・今回の会議での統一議題(8項目)について常任より説明があった。

### 3) 地区ごとの統一議題の討議

#### (1) 会員増対策

全国的に見れば医療の会員は今年度微増している。今後さらなる会員増を目指し、給食管理スペシャリスト育成事業の拡大、ホームページにアクセスしやすい環境づくり、就職活動、転職、セカンドキャリア支援、情報誌リエゾンの発行予定をしている。日本栄養士会と都道府県栄養士会との

会員増対策に関する連携を図っていく。

(2) 実態調査回収率アップについて

実態調査(今年は5月を調査月とする)の回収率がよくない(昨年約35%)。今年度は50%を目標とし、各都道府県で会員の名簿と調査用紙を送る病院の確認をおこなう。

(3) 認定管理栄養士・専門管理栄養士の資格所得について

がんの専門管理栄養士は全国で1000名以上であるがその他はそれぞれ100名足らずである。診療報酬への実態形成のためにも各都道府県で資格取得を勧奨する。

(4) PES報告の全国展開について

将来の電子カルテ標準化に対応すべく、来年度各都道府県でのPES報告に関する研修会開催を積極的におこなうこと。

(5) 機能強化型認定栄養ケア・ステーション設置勧奨について

第8次医療計画でも在宅に向けた施策が重要となるため機能強化型認定栄養ケア・ステーションの設置勧奨があった。

(6) コンサルテーションサロンのテーマについて

来年度のコンサルテーションサロンのテーマについて意見集約をおこなった。

(7) 令和6年度診療報酬改定の要望について

令和6年度診療報酬改定の要望についての取りまとめをおこなった。嚥下調整食、食物アレルギーに対する評価や栄養情報提供書に関すること、早期栄養介入管理加算などと栄養食事指導の併算定不可についてなど意見があった。

(8) 食事療養費の調査について

人件費、食材料費、光熱水費の高騰に対して、現状の状況分析をおこない、厚生労働省への正確な情報提供ができるようにする。実態調査とは別で平成29年に厚生労働省が実施した調査に準拠して栄養部門にかかる費用の調査を事業推進委員の病院でおこなうことになった。

(文責 医療 内菌雅史)